

1. 現況の整理(令和5年度)

①関係各課ヒアリング調査 現行計画で定めた施策の取組状況・今後の取組方針をヒアリング	②社会情勢の整理 みどりを取り巻く背景・社会情勢等を整理	③現況特性の整理 自然的条件・社会的条件・経済的条件を整理 みどり率・緑地の状況調査	④市民アンケートの実施 18歳以上の市民3,000人を対象に実施 期間:令和6年2月6日～2月29日 回収率:32.3%
--	--	--	--

2. 現行計画の評価・分析(令和5年度)

目標設定	項目	現況計画 策定時値	現行計画 目標値	令和5年 現況値
みどりの確保	市全域のみどり率	80.3%	80.3%	79.5%
	市街化区域のみどり率	31.0%	31.0%	31.1%
公園などの充実	都市公園面積	135.8ha	約138ha	135.8ha
	市民一人当たりの都市公園の面積	9.8㎡/人	10㎡/人	10.5㎡/人
青梅の森にそま る	青梅の森にそまっている人数	13人	約300人	92人
	青梅の森にそまっている団体数	7団体	15団体	6団体
魅力ある「緑」で 住みたいまちに	自然環境がよいから青梅市に住んでいる人の割合	72.5%	80%	78.2%

現行計画の評価・分析

- みどりの総量や公園整備量は大きな減少はなく、市民や小学生からも市内のみどりが多いことへの評価は高い
- 重点プロジェクトを中心に取組施策を実施し、計画全体の取組の進捗も概ね評価できる
- 自然学習や体験イベントは実施しているが、市民の関心度はあまり高くなく、普及啓発が十分ではなかったと思われる

3. みどりのまちづくりの課題(令和5～6年度)

現行計画の取組状況、みどりを取り巻く背景・社会情勢、現況特性、アンケート等から、みどりのまちづくりの課題を整理

- 課題① 骨格となるみどり(山地・丘陵地、河川、崖線樹林など)の継続した保全、生物多様性の配慮が必要
- 課題② ニーズの多様化に対応した公園緑地の利活用、効率的・効果的な運営管理が必要
- 課題③ 農地の多面的機能(生産の場、防災・減災など)の保全、農地・農業に対する市民の理解・興味の向上が必要
- 課題④ Well-beingの向上に寄与するみどりのある環境づくり、民有緑地の適切な保全が必要
- 課題⑤ 生き物の生息・生育環境となる山林、里山林の適正な管理、まちなかのエコロジカルネットワークの形成が必要
- 課題⑥ 多様な主体との連携による公園、緑地、河川等の保全、ボランティア活動の新たな担い手の育成が必要

現行計画の取組状況、みどりを取り巻く背景・社会情勢、現況特性、アンケート等から、みどりのまちづくりの課題を整理

計画改定の視点

みどりのまちづくりの課題・
みどりを取り巻く社会情勢
を踏まえ改定の視点を整理

基本理念・基本方針・ みどりの将来像図

計画改定の視点・総合長期計画等の基本理念・将来像を踏まえる

個別施策 重点プロジェクト

緑地等保全・管理の方針
公園緑地等、特別緑地保全地区
農地、緑化重点地区

地区別方針

計画の推進
にあたって

5.改定スケジュール(案)

	令和6(2024)年度												令和7(2025)年度						
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
環境審議会						●		●			●		改定案作成		←→				改定・公表予定
都市計画審議会							●				●				←→				
庁内検討委員会	●			●		●			●		●			←→					
住民								座談会			パブリックコメント								
小・中学生等			小学生オンライン交流会 ●			高校生等意見聴取			中学生オンライン交流会 ●										
			小中学生アンケート																